

市民フォト **鹿児島**
KAGOSHIMA **鹿児島**

No. **56**

平成6年(1994年)4月1日

特集 | カゴシマ シティビュー
のって乗って まち巡り



下福元町坂之上の上空から

下福元町坂之上の上空から桜島方向を望んでみた。

写真下、緑に囲まれているキャンパスは鹿児島経済大学である。昭和41年にこの地に移転した同大学には経済学部と社会学部があり、県内外に多くの人材を輩出している。

写真中央から右端にかけての台地には、坂之上、坂之上東前、鹿経大南の各遺跡や草野貝塚などが

確認されていて、縄文時代早期から人々が生活し同時代後期には沖縄に至る南の島々との交流もあったと推測されている。

写真中央右の鹿児島港谷山一区には、2月23日にイギリスの豪華客船クイーンエリザベスⅡ世号が入港した。海を生かした交流が大切なことは昔も今も変わらない。



市民フォト鹿児島 No.56 【もくじ】

わがまち高度350m	2
特集／カゴシマシティビューのって乗ってまち巡り	3
クローズアップ（津曲貞利さん）	12
学校探訪（玉江小学校）	13
カメラトビックス	14
カメラトビックス	15
ハロー鹿児島（海の女王（Q.E.Ⅱ寄港））	16
シティーアングル	17
わたしの散歩道（平 猛彦さん）	19
市民のひろば（転勤者も故郷にしたいまち）	20
ふるさとの史跡（時宗・浄光明寺）	22
集えば楽し	24
（勤労青少年ホーム自主クラブ「卓球クラブ」）	25
あなたのフォトサロン（さくら サクラ桜）	26
平川動物公園のゆかいな仲間たち	27
市立美術館「紅被切子皿」	28
	29
	30
	31



●「表紙」写真説明

スイレンは古代エジプトの聖なる花で、壁画にも残されているとか。フランスの画家クロード・モネは、池のほとりで終日スイレンを見つめていたそうです。

水辺を飾るスイレンを眺めると、ここだけは時間の流れが止まっているような気がします。

かごしま熱帯植物園にて（人物は、ミス鹿児島島の満尾麻衣子さん（右）と友人の古川幾恵さん）

特集

カゴシマシティビュー のつて乗つてまち巡り

昔の路面電車の形をした赤と青の二台のバスが鹿児島島のまちを走っています。ご存知ですか？

西鹿児島駅前を起点にして市内十一カ所の観光地を巡るこのバスは、

「カゴシマシティビュー」。三月十八日から運行を始めています。

鹿児島島の観光を手軽に、存分に満喫できると、観光客の皆さんに大変好評です。

こんな便利なバスを観光客のものだけにしておくのはもったいない。

そんな思いから、今回は「シティビュー」に乗って、

わたしたち市民自身が楽しむ鹿児島小旅行を企画しました。

知ってるつもりのある場所、この場所、

どうなってるかなと思つたら、さあ出発！



往路 ■

復路 ■

■運賃／一回乗車 160円(子供80円)
一日乗車券 500円(子供250円)
(シティビュー、市電全線、市バス特殊
区間内は1日中、何回でも自由に乗
乗り降りできます)

■運行回数／一日18便(8時30分始発～17時終発)
30分間隔で運行。



バスからの眺めは街を新鮮に感じさせてくれる

西鹿児島駅前

カコシマシティビューの起点は「西鹿児島駅前広場4番のりば(観光案内所の前)」。広場にはミニチュメント「若き薩摩の群像」や屋久杉の切り株、噴水、蒸気機関車の車輪などがあります。電車通りを渡ってビルの東側に朝市が開かれ、共研公園のナポリ通り側入口には西郷南洲翁宅地跡の碑があります。



① いろいろな観光情報を提供してもらえる市の西鹿児島駅前観光案内所。あなたのプランをより充実させる耳よりの情報を仕入れてみてはいかが？(年中無休、8時30分～18時)



① 見てワクワク、買ってワクワクの朝市。朝5時から昼すぎまで活気の途切れることがない

維新ふるさと館前

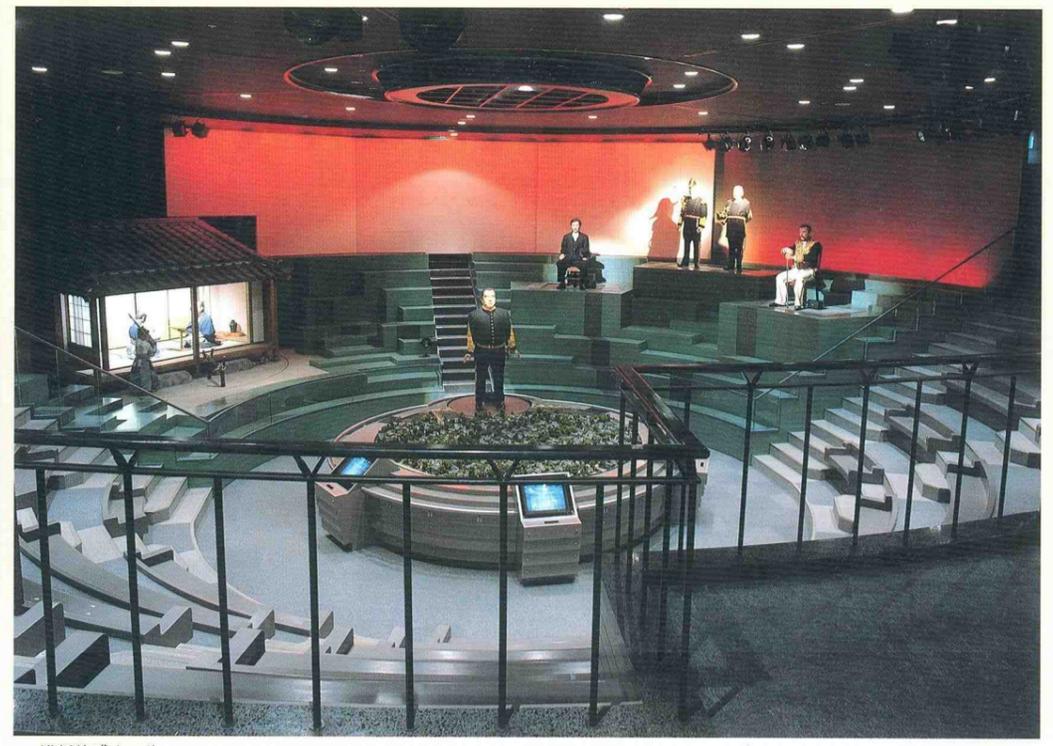


① 西郷誕生地、大久保利通生い立ちの地で見つけたテーブルと椅子。腰掛けながら熱き薩摩に思いをはせる

加治屋町付近は幕末から明治にかけて活躍した多くの人々が誕生したところです。一帯は西郷隆盛、大久保利通、西郷従道、大山巖、伊地知正治、黒木為楨、村田新八、井上良馨、篠原国幹、東郷平八郎、山本権兵衛、山本英輔などの誕生地、生い立ちの地になっています。四月二十九日にオープンする、鹿児島市維新ふるさと館では、これらの人々の足跡も紹介。一味違った偉人誕生地巡りが期待できます。

維新ふるさと館

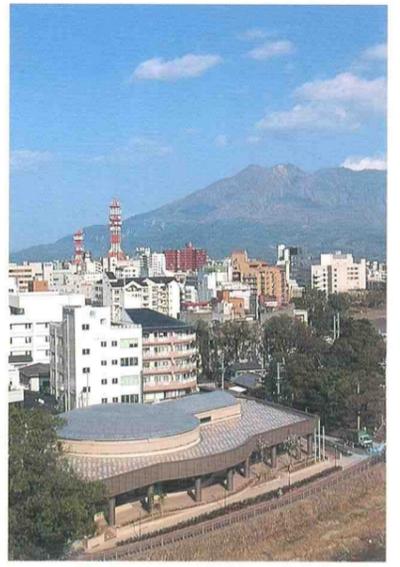
Museum of the Meiji Restoration



▲維新体感ホール
近代日本をつくる原動力となった鹿児島。その歴史や先人の偉業を、ジオラマや映像などをはじめとする多彩な展示演出により楽しく、わかりやすく紹介します。



▲薩摩ガイダンスホール



▲大久保利通生い立ちの地の隣に建つ「維新ふるさと館」

●維新体感ホール

薩摩の(人間)と(偉業)に視座を置き、「人間・英傑たちの土壌」をテーマに維新の大業の過程をドラマチックに紹介。演出モードでは映像や音響に西郷・大久保など七体の

ロボットやジオラマを同調させたプログラム「維新への道」を上演。展示モードでは「郷中教育」や「加治屋町散策」のコーナーを復元模型や映像で紹介します。

●薩摩ガイダンスホール

「薩摩と世界」「維新の源流」「薩摩の女性」「維新への道」の四つのテーマで構成されます。ジオラマや映像などで幕末当時の世界情勢や維新の源流などを紹介するガイダンスコーナーです。

●テーマ展示室Ⅰ

集成館事業の業績を取り上げた「薩摩単人の情熱と知性」、数々の試練を英断によって克服してきた過程を紹介する「維新前夜の薩摩」をテーマに展示。

●テーマ展示室Ⅱ

薩長同盟に始まる幕末の急展開から戊辰戦争の終結までを取り上げる「薩摩の躍進」、維新実現後の薩摩と日本を紹介する「維新以後の薩摩と日本」をテーマに展示。

●鹿児島市の人物コーナー

「明治を彩る鹿児島市の人物」をテーマに、鹿児島市が輩出した数々の人物を紹介。

●観光情報の提供

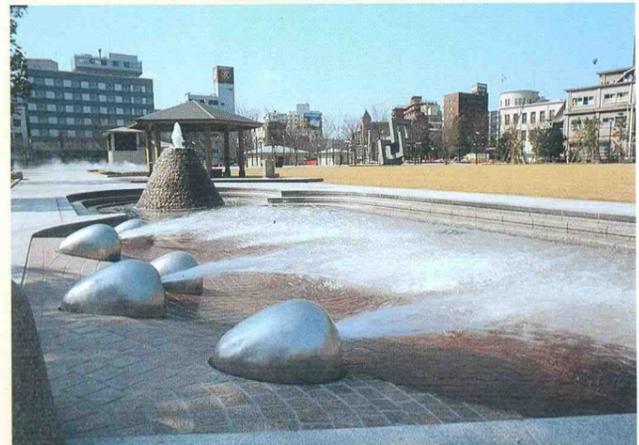
鹿児島市観光センター、鹿児島市観光情報センター、観光情報センター。

ザビエル公園前

バスは山下小学校を過ぎて、ザビエル公園前バス停へとやって来ました。左手にはザビエル教会、右手にはザビエル公園があります。そのザビエル公園の中にあるのがフランシスコ・ザビエル滞虜記念碑です。しかし、何か変だな？ 表示が「ザビエ」となっています。この「ザビエル」のカナ表示は60以上の種類があると言われています。「ザビエル」「ザヴィエル」「ザビエー」「シャビエル」「シャヴィエル」「シビエル」などなど。



① ザビエルは1549年8月15日、稲荷川河口付近に上陸し、島津家15代貴久の許可を得てキリスト教の布教を行った。この石碑は戦災で焼け残った旧教会の石壁



① 中央公園——市民の憩いの場所、市街地のオアシス



① 県立博物館考古資料館は明治16年に建設され、一時期市役所も置かれていた。市内の石造建築では磯の尚古集成館に次いで古い

西郷銅像前

左手に生まれ変わってオープンした「中央公園」を観ながら、バスは次の停留所「西郷銅像前」へ。このバス停周辺の見どころは「西郷銅像」「市立美術館」「県立図書館」「黎明館」と続く「歴史と文化の道」、そして中央公園などです。鶴丸城を中心とした藩政時代は、この地域は真に政治・文化の中心となってきた場所です。現在も西郷銅像が鹿児島島の街の移り変わりを見守っています。



① 歴史と文化の道——ガス灯、せせらぎの中を泳ぐ鯉、イヌマキ並木が文化ゾーンを彩る

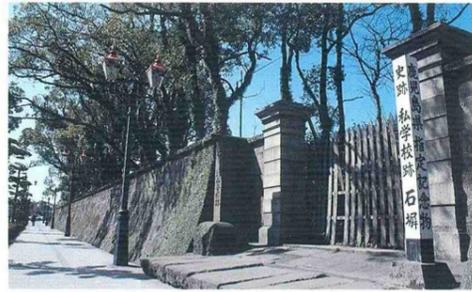
② 薩摩藩砲台火薬庫跡——西郷銅像裏にあり、その後ろには仁王像の姿も見える

薩摩義士碑前

さて、バスは薩摩義士碑前バス停へ。「薩摩義士碑」と道路をはさみ国立南九州中央病院があり、その敷地内に私学校跡記念碑があります。この私学校は、一八七四年に西郷隆盛が彼を慕って下野した青少年師弟を教育するために県令大山綱良の協力を得て開校したものです。この地が後の西南戦争の激戦地となりました。



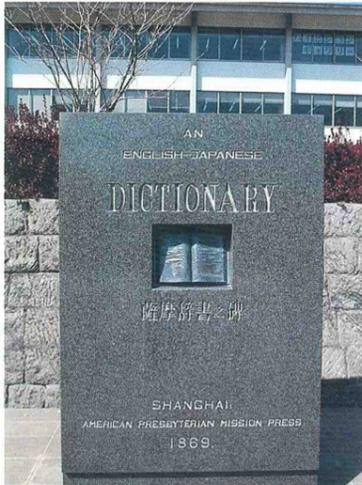
① 薩摩義士碑——宝暦年間の木曾川治水工事で殉職した80余人の薩摩義士の顕彰と慰霊のために建立された



① 私学校跡——石壁には今も西南戦争の時の砲弾の跡が残っている



① 市立美術館——この一帯には県立図書館、黎明館などもあり、鹿児島島の文化ゾーンとなっている

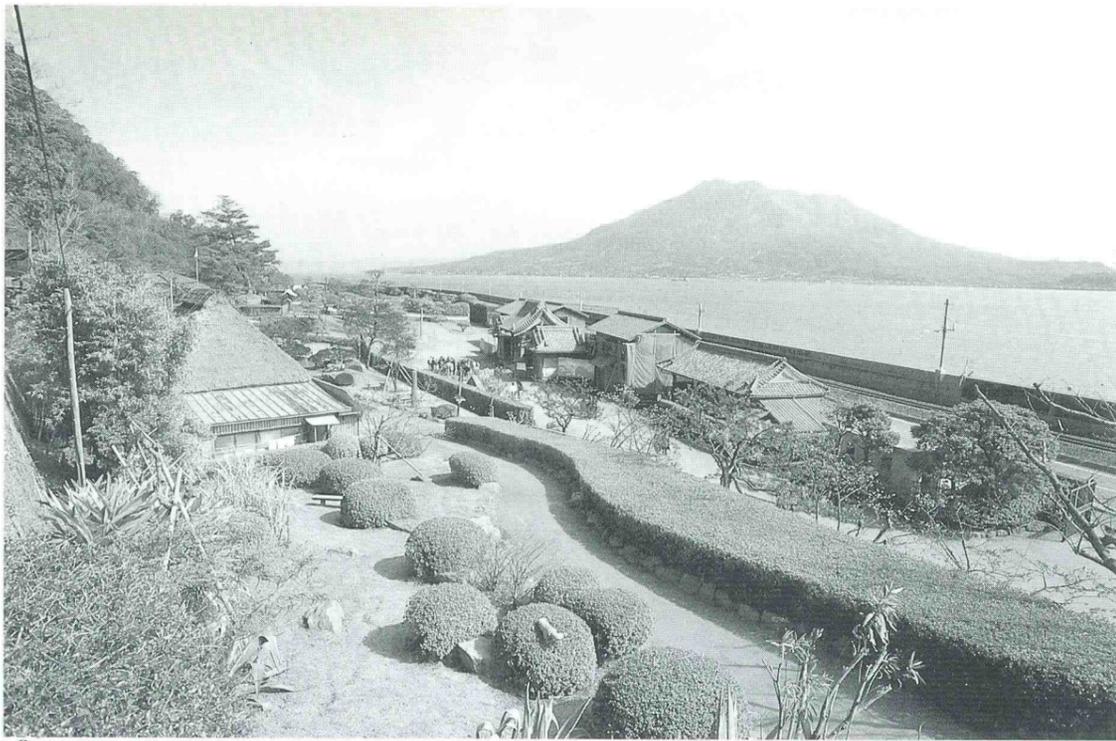


① 薩摩辞書の碑——薩摩藩士が中国・上海で英和辞書を翻刻し、広く利用された。碑は県立図書館の入口にある



① ジメシアの石像——島津家17代家久の妻であったジメシア。こと持明院様は器量には恵まれないが心やさしい人柄だったと言われている





① 島津藩主歴代の別邸・磯庭園。桜島の雄大さ、ひととき



① 薩摩切子の製造過程も見学できる



① 春。緋が庭園を彩る



① 異人館(旧鹿児島紡績所技師館)はイギリス人技師の宿舎だった。白壁に異国を感じて

足をのばして



① 傷ついた心を癒すにはココ。島津氏が鹿児島で最初に居城とした東福寺城の跡(多賀山公園内)

磯庭園前

鳥越トンネルを抜けると、そこは「別世界」。異人館を右手に、眼前には錦江湾と桜島を借景にした磯庭園が広がります。ここは史と景の街、鹿児島の魅力を十分に満喫できる所です。歴史家を気取るもよし、磯海水浴場でマリネジャーを楽しむもよし、自分なりの楽しみ方がきつと見つかります。ステップを降りて、潮風に誘惑されてみませんか。



① 西郷洞窟前にたたずむ。時代の風が一瞬駆け抜ける。

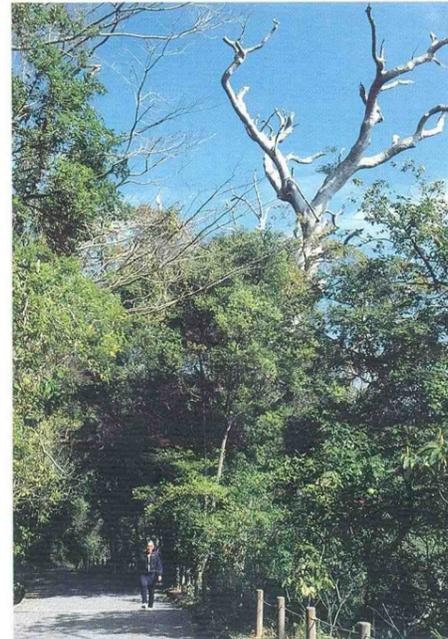
ここから眺める桜島もまた絶景。西郷隆盛をはじめ、西南戦争薩軍戦没者二千余名の魂がヒソソリと眠る南洲墓地。西郷さんの生涯と西南戦争の資料を展示した西郷南洲顕彰館など、「敬天愛人」の心に触れることができます。また、今年の六月には南洲公園と国道十号を結ぶ「南洲門前通り」が新しく整備され、歴史のまちのイメージをいっそう高めてくれます。



① 南洲墓地に雪が降る。敬愛する師の墓を中心に眠る烈士のなかに最年少の池田孝太郎(当時14歳)の墓石もある

西郷洞窟前

西郷さんが最後の日までの数日間を過ごした洞窟も、今では周りにお土産店や温泉の公衆浴場などが立ち並び、時代の流れを感じさせてくれます。



① 野鳥の声を聞きながら緑のトンネルを森林浴。四季を通じ、城山はいろんな表情を見せてくれる～城山自然遊歩道にて～

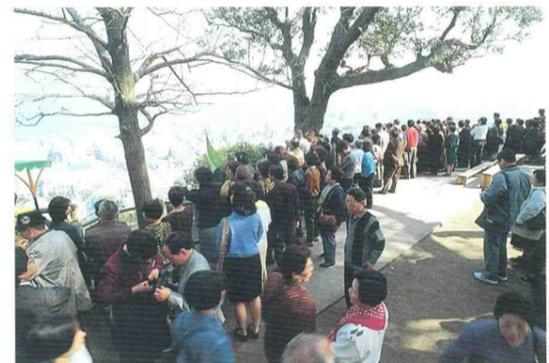
城山



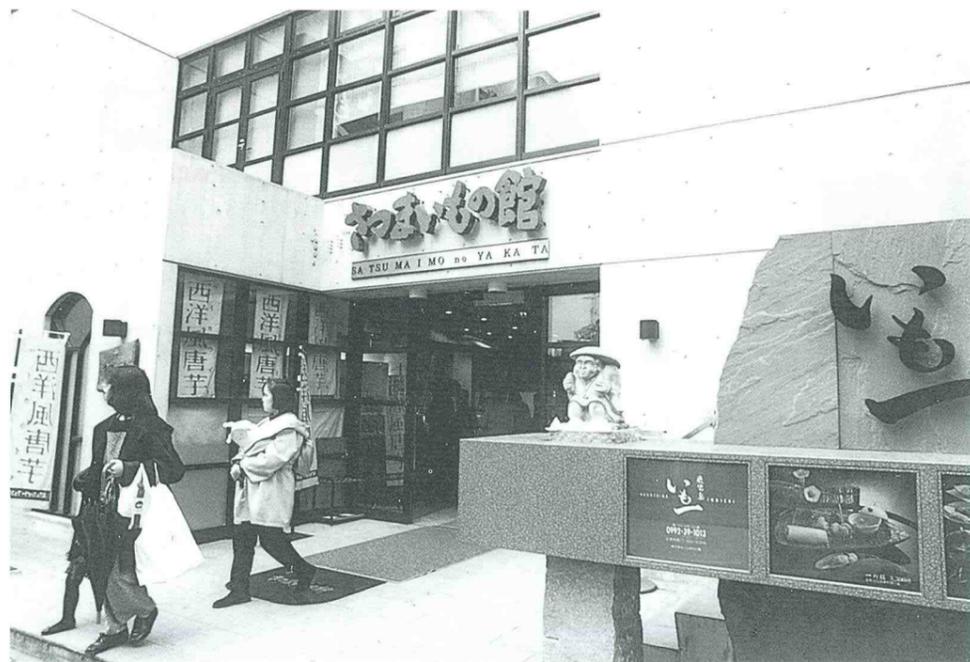
① 「いかがですか?」。バスが到着するたびに売店から明るい声がかかる

城山は巨大な緑のオアシス。海拔百七メートルの高さから街に新鮮な空気をゆつくりと満たしてくれます。展望台からは時を超え「維新の舞台」をかいまみることができます。

南洲公園入口



① 城山展望台には全国各地から来た観光客の感嘆の声が…。お国言葉が観光気分を盛り上げる



① さつまいもの情報なら何でもOKの「さつまいもの館」。昨年3月のオープン以来、ユニークな新名所として県外の観光客にも高い人気を誇る

鹿児島といえば、ここ天文館。南九州随一の歓楽街にはいろんな店がたち並び、昼も夜もにぎわいが絶えない。食・ファッション・遊び……。鹿児島の夜は、エキサイティングに過ぎてゆく。

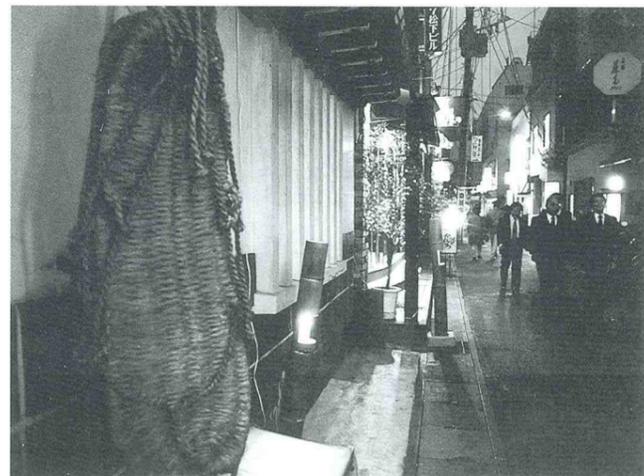
天文館



① 忘れ去った何かに出会えます。人情、郷愁、優しさ、それとも……。ここは鶴丸城のできた1600年代は船着き場として使われ、物資の集散地として栄えたところ ~滑川市場~

鹿児島駅前には鹿児島市内観光の電車海上交通の結節点です。カゴシマシティビューは自由、気まま。レトロ気分でも市電に乗り込み、おもしろそうな所でピンポン。どこまで行っても160円。市民に親しまれ続ける市電、初めて乗る人にも、きっとその優しさがわかっていただけです。桜島へはフェリーで。火の島を直に体感したい人にはお勧めです。船に乗って15分、そこは、もう自然のワンダーランドです。

鹿児島駅前



① 「グルメ通り」には小粋な店も数多い。竹を利用したオリジナルの明かりで夜のムードを演出する

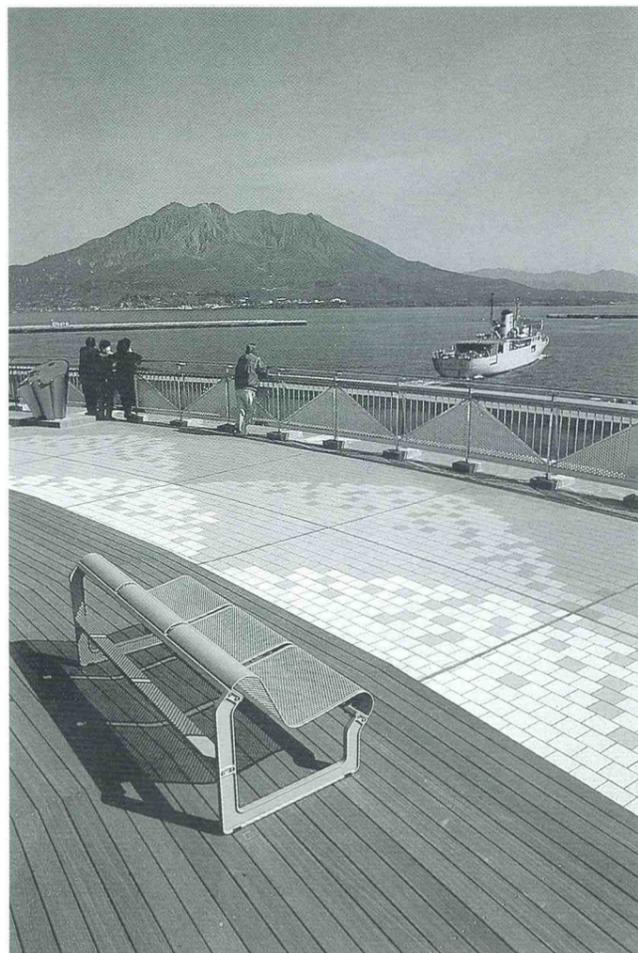


① 鹿児島ブランドショップ(県産業会館)では、約2,200種類もの県内の特産品が展示即売されている。県内各地を旅行した気分!?



① 夜のとぼりが降り、天文館がにわかに活気づく。ネオンの明かりに吸い込まれるように人々が集まってくる

観光案内所でもらったパンフレットを片手に路地から路地を訪ね歩いて見る、遊ぶ、食べる、買い物をする……。テクテク、ブラブラのわがまち観光体験は、あなたとまちの関わりをさらに新鮮なものにしてくれそうです。



① 鹿児島港本港区北ふ頭は新しい観光スポット。旅客ターミナルではロビーやテラス、レストランから展望が楽しめ、ボードウォークでは潮騒と仲良しになれる



① バスとは一味違ったアングルで見えるかも……。市内観光には一日乗車券が便利

クローズアップ

CLOSE UP

鹿児島青年会議所理事長

津曲 貞利さん

創立四十周年を迎えた鹿児島青年会議所(JCC)の今年の理事長は「まちづくりへの情熱にあふれる熱血漢」。まちづくりデザイン会議やウォーターフロントフェスティバルなどのイベントを通じて、「鹿児島を愛する心を育みたい」と、意欲を燃やしている。

海辺に近いスポーツクラブ「アーバン・ウェルネス・クラブエルグ」。その総支配人として、人当たりのよい、さわやかな青年というイメージがそのままではまる今年の鹿児島青年会議所理事長の津曲貞利さん。

だが、柔らかな笑顔とは裏腹に、「鹿児島のみちづくり」への思いは人一倍強く、持論を語る目からは情熱がほとばしる。「熱血青年」は四十周年を迎えた今年の鹿児島青年会議所のイベントと、その理念を熱く語り始めた。

「今年、JCCが開く各種のイベントの共通テーマは『鹿児島を愛する人の心を育む』です。その根底にあるのは『海を愛する人の心を育む』ことができる。いつの間にか、津曲さんの瞳は童心に戻ったように輝いていた。

そして、「まちづくりデザイン会議」。「プロポーズした場所とか、だれにでもお気に入りの風景があるでしょう。他人にとっては他愛のない場所でも、その人にとっては大切な場所が……。それを写真として出し合ひ、コンクールを開く。その場所に対する各自の思いを語り合おうです。ねらいは市民に「ここは、おれが好きなお場所なんだ」という愛着を持ってもらう。そして、他人にも共感を持ってもらうことだ。ちなみに、津曲さんが最も気に入っている場所は、子供のころよく遊んだ天保山。

まちづくりへの議論が続く中、津曲さんに「JCCを通じて学んだことは？」と聞くと、「真剣に人を説得しようという気持ちが生まれたことだ」という答えが即座に返ってきた。「青年会議所には、ほかの会社の社長クラスの人たちがいっぱいいる。そういう人たちが動かすには情熱、心意気しかないですよ。まるで部下が上司を説得するのに近いような」と笑顔。座右の銘は「信ずる心を動かす」。

るのは「まちづくりは、とかく都市開発に偏りがちだが、鹿児島が持ついいものに視点を当て、それを育む気持ちベースとなる」と説明する。

昨年は未曾有の集中豪雨や台風など鹿児島市はかつてない被害を受けた。それだけに、まちを「愛する」「育む」という言葉は実感を伴って迫ってくる。

さて、その目玉行事の一つ「鹿児島ウォーターフロントフェスティバル」。今年は鹿児島本港区に人工海浜を作り、市民に直接、海辺で遊んでもらおうという趣向を計画している。「泥んこになって砂遊びをし、海の匂いや音に触れてほしい。そ

なす津曲さんのキーボードとピアノの腕前が聞けるのは、今年いっぱいは無理だろうが、目の前の課題に全力投球を期待したい。

文/佐藤一司・西日本新聞記者

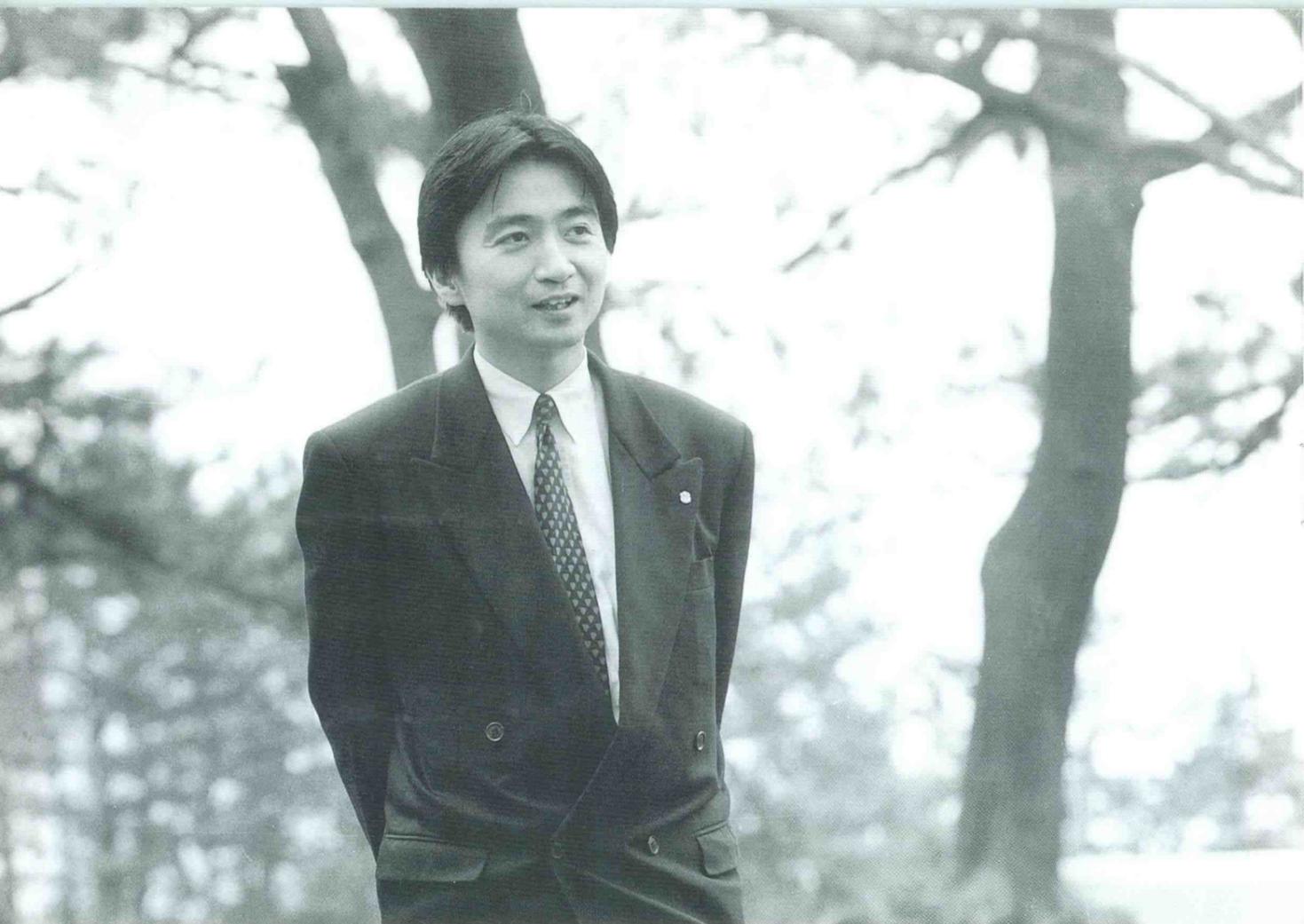
プロフィール

鹿児島市出身。早稲田大学法学部卒。昭和五十五年(一九八〇年)に東京ガスに入社し、同五十九年に日本ガスへ。総務課、総合企画室を経て昨年から関連事業室長。平成元年からはスポーツクラブ「エルグ」に出向し同四年からエルグ総支配人も務める。

鹿児島青年会議所には昭和六十二年に入会。提言書策定委員長、政策室長などを歴任し、平成四年から副理事長を二年務めた後、本年の理事長に就任。

県の鹿児島広域都市圏整備基本方向検討委員会委員や市の自然環境保全審議会委員など約百二十に上る職務もこなしている。

天保山町に妻・啓子さん、長女歩ちゃん、長男・遼くん、四人暮らし。三十七歳。

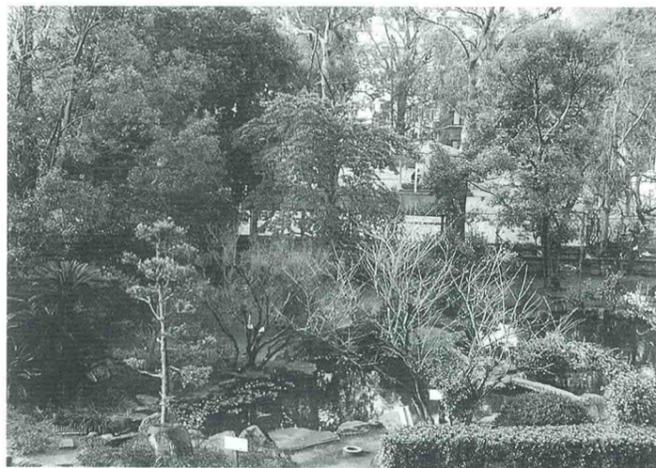


▲津曲さんが最も気に入っている場所、天保山で。子供のころ野球をしたり、石積みの護岸の下でカニや魚とたわむれたという。





■おじいちゃん、おばあちゃんに心を込めて奏でます



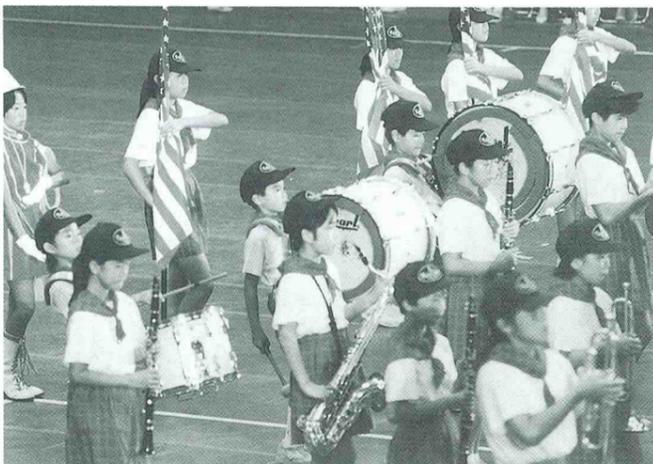
■校内にある保存樹林～クスノキ、イチヨウ、ヤマモモなどの豊かな自然に囲まれて～



■もう、二度と水害が起こりませんように～玉江祭り～



■「上手でしょ」みんなの息が肝心です



■りりしい玉江っ子の晴れ姿!



■懸命に走る姿、素敵です(校内駅伝大会)

学校探訪



玉江小学校

●創立…明治11年4月1日 ●児童数…1,168人(平成6年3月1日現在)



■昨年夏の大水害をつづった文集

■いつも「おはよう」の明るい声が響きます

歴史と 伝統の学校

六年 布市 未来

私たちの玉江小学校は、五大石橋の一つである玉江橋からすぐ近くにありま。戦前は鹿児島第四十五連隊の兵舎があり、戦後には鹿児島大学教育学部や附属中学校があった場所でもあります。

現在、児童数千六百八十八人で、創立百五周年を迎えた伝統のある学校です。

私たちの学校では、昨年からはボランティア活動の推進校として、様々な活動を展開しています。たとえば、九月の敬老の日の慰問です。児童会の呼びかけに対して、

たくさんのお友達がプレゼントを作ったり、手紙を書いたりしました。それを受け取ったお年寄りの方々のうれしそうな顔は今でも忘れられません。また、いろいろな募金活動や校区内の清掃活動も積極的に行っています。

ボランティア活動のほかにも、玉江小学校の特色はいくつもあります。紹介しますと、

まず、全校児童で取り組む玉江祭りです。各学年でテーマを決めて「みこし」を作ります。祭りの日に「ワッショイ、ワッショイ」と、かけ声をかけながら走る時、クラスの心が一つになり、そして、全校の友だちの心が一つになっていくのです。この日には盲学校や養護学校との交流も楽しく行っています。

また、様々な課外活動が盛んだという事です。県大会に出場したマーチングバンドや合唱部、それにサッカー、ソフトボール、バレーボールのスポーツ少年団などが各大会で大活躍して優勝や準優勝しています。

近くには県立短期大学をはじめ、いろいろな学校があります。その真ん中にある私たちの玉江小学校、これからも、「のぞみ 大きくたくましく」を校訓として、夢のある学校にしていきたいと思ひます。





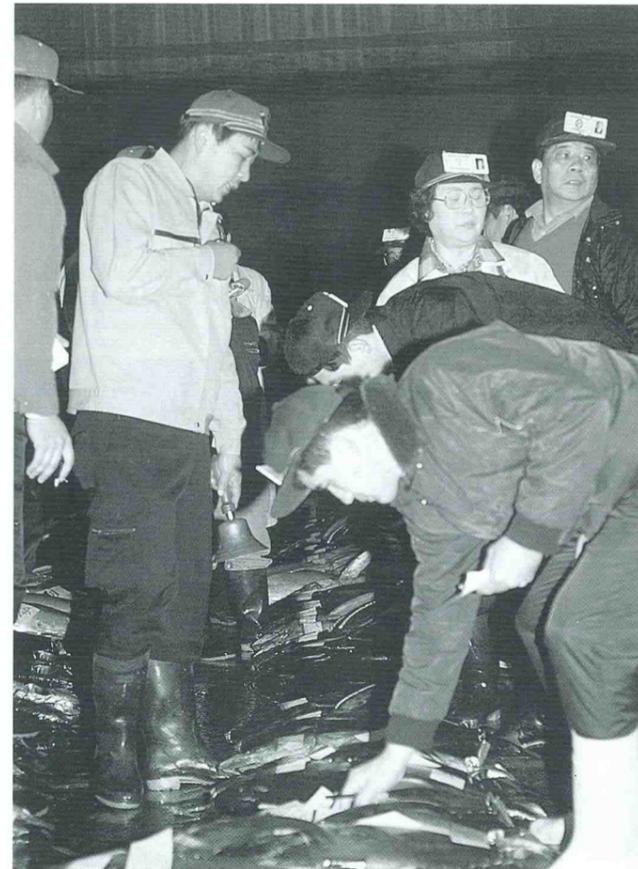
1月28日/在宅介護支援システム稼働開始!

体の不自由な一人暮らしの高齢者宅と市高齢者福祉課・消防局を電話回線で結び、電話相談や非常時の緊急通報などの対応ができるシステムが稼働しました。一人暮らしのお年寄りに「安心」をお届けします。



1月17日/城山トンネル起工式

国道3号と10号を結ぶ市道易居草牟田線「城山トンネル」の起工式が行われました。このトンネルの完成により、市街地の交通渋滞が緩和されることでしょうか。平成8年3月の供用開始予定です。



1月5日/中央卸売市場(青果市場・魚類市場)で初せり

振鈴を合図に、夜明け前の魚類市場で、今年の取引が始まりました。競り人の威勢のいい掛け声とともに水揚げされたばかりのマグロやブリ、カンパチが次々に競り落とされていきました。「不景気を吹き飛ばせ」とばかり、市場には活気があふれていました。



12月21日/救急体制をさらに充実! 県内初の高規格救急車お目見え
救急患者を病院に搬送する間に初期治療ができるように高度の救急機器を搭載した高規格救急車の運用開始式が行われました。この救急車には救急救命士が同乗しており、救急患者の救命率の向上が期待されています。



2月18日/千葉ロッテマリーンズ鹿児島キャンプイン

プロ野球の千葉ロッテマリーンズのキャンプイン 歓迎式がみなと大通り公園で行われました。今回で23年連続の鹿児島キャンプです。鹿児島の澄んだ空の下でトレーニングに汗を流し、ペナントレースを勝ち抜いてください。



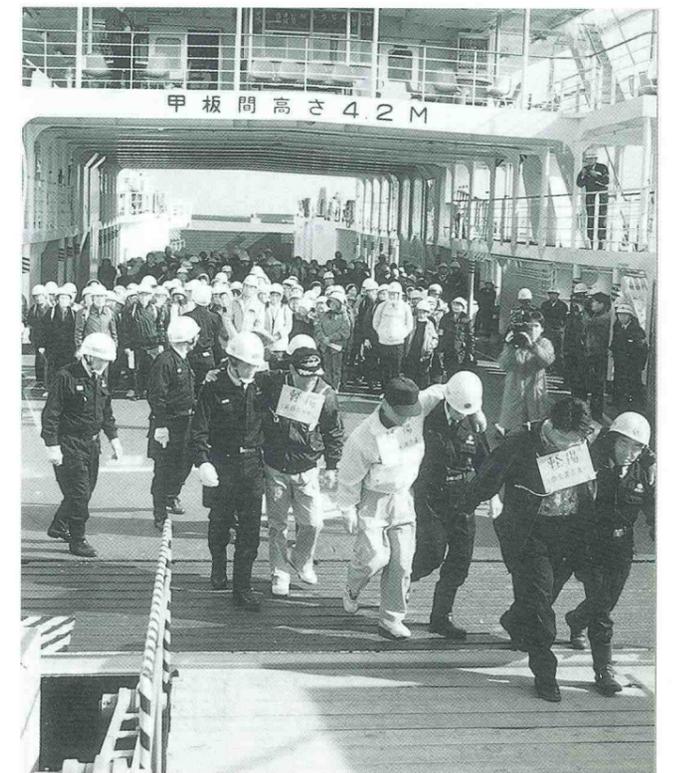
2月4日・5日/第2回生涯学習フェスティバル開催

市民文化ホールで「生きがいと潤いに満ちた生涯学習社会の創造」をテーマに、2日間にわたり開催されました。講演会、生涯学習推進功労者の表彰、市内の自主グループの作品発表など盛りだくさんの内容でお楽しみいただきました。



1月15日/市内で8,248人が大人の仲間入り—新成人のつどい

市民文化ホールで約4,600人が参加して新成人のつどいが開催されました。色とりどりの晴れ着姿の新成人たちは20歳の責任と喜びを感じ、大人としての決意を新たにしました。



1月12日/桜島火山爆発総合防災訓練の実施

約4,300人が参加して陸・海・空一体となった防災訓練が行われました。桜島大爆発から80年。8・6豪雨災害のように、自然災害はいつ起こるかわかりません。参加した人々は、みんな真剣な表情でした。



HELLO—KAGOSHIMA

「海の女王」
QE II 寄港

世界有数の豪華客船クイーンエリザベスⅡ世号が二月二十三日、鹿児島市谷山港にその優美な姿を現わした。八年ぶり四回目の寄港で日本で立ち寄るのは鹿児島と横浜の二カ所だけ。

全長二百九十四メートルの巨大な船内には、レストランだけでも四つ、プール、図書館、映画館、劇場、ショッピングセンター、ショッ

トバー、おまけにカジノまであって、海上の快適な旅を楽しめるよ

う、至れり尽くせりの設備が整っている。

観光バスで市内を巡り、磯庭園の野だてに参加した乗客の一人は「鹿児島に来たのも、着物や野だてを見るのも初めて。それに、桜島のような大きい火山を間近に見てとても感激しているの」と、声を弾ませる。

一方、日本の生活にふれてみようと、約七十人の乗客が市内の一般家庭を訪れた。鷹師二丁目の赤

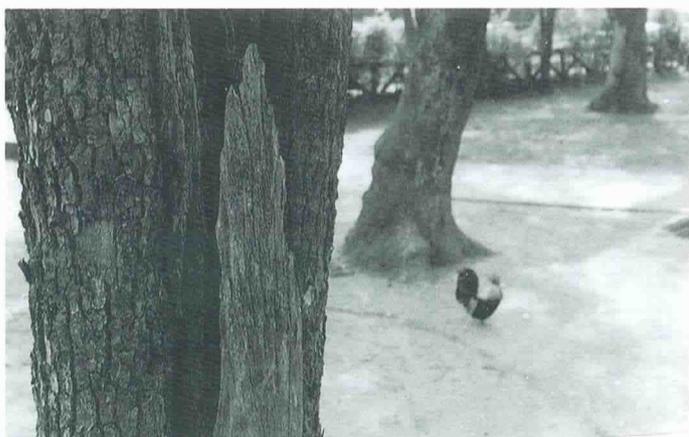


崎恵美子さん宅を訪れたヘザー夫妻は、隠やかで美しい鹿児島は故郷に似ていると、くつろいだ様子で自分たちの日頃の暮らしを紹介。茶道をたしなむ赤崎さんは二人のためにお茶をたて、身ぶり手ぶりを交えながら和やかに語り合った。

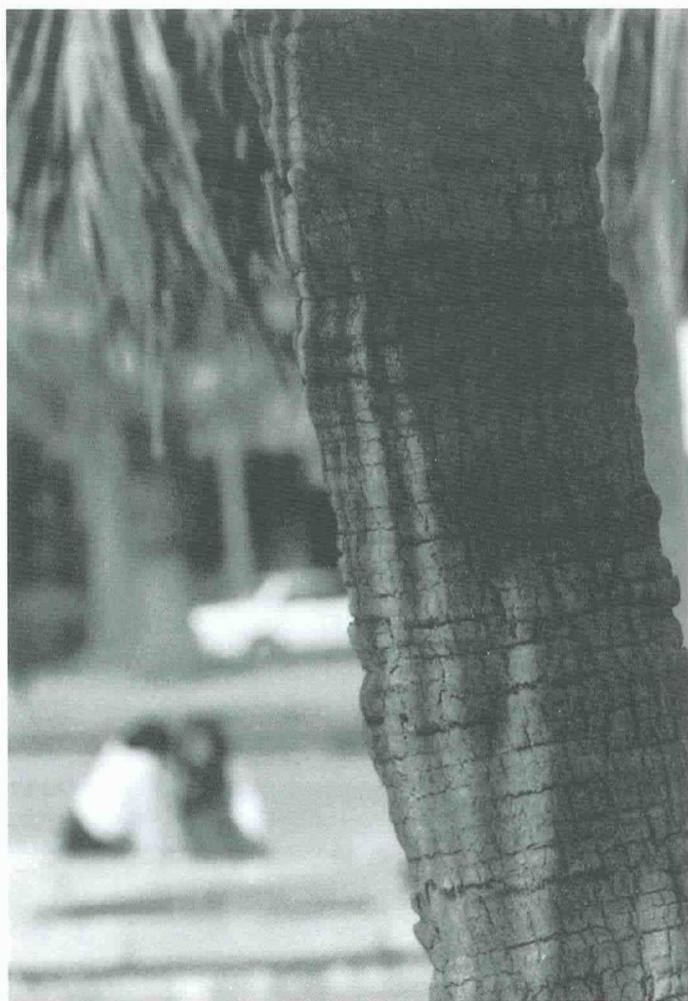
真心のこもった市民の厚いもてなしは、きつと海を越えて、乗客一人ひとりの心に残ることでしょう。

シティーアングル CITY ANGLE

樹皮の記憶

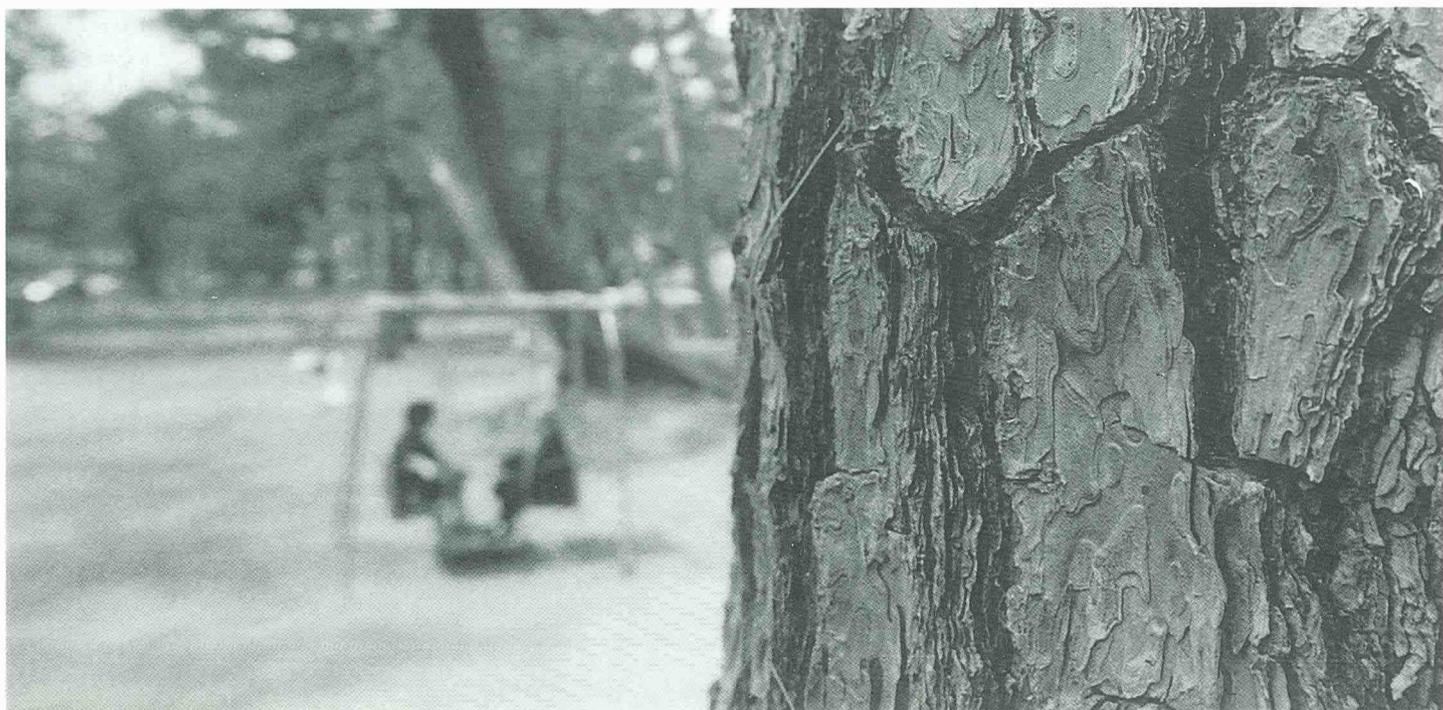


▲クスノキ(西郷隆盛誕生地)



▲ビロウ(県立鴨池運動公園)

樹木の下で繰り広げられるのは
うたかたの営み。
この一事一事を樹木は
樹皮の記憶に刻んでいるかもしれない。



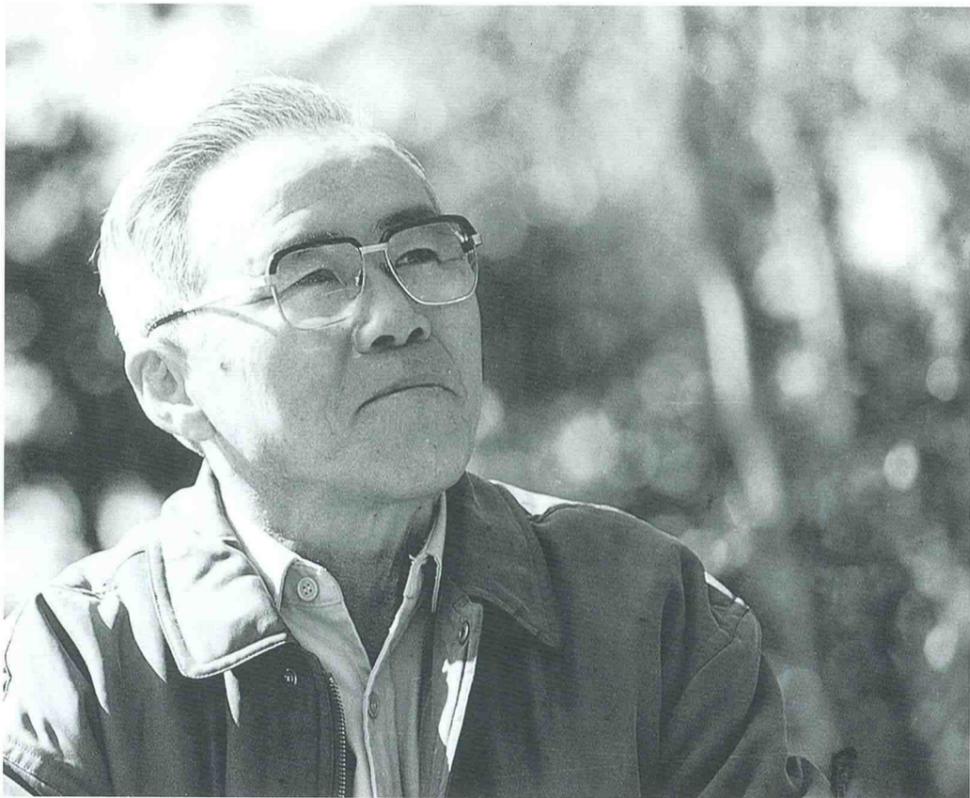
▲クロマツ(天保山公園)

花があるところ

幸せあり

鹿児島県花弁園芸農業協同組合 理事長
地方卸売市場鹿児島花市場

平 猛彦さん



私が生まれ育った川上町は、豊かな自然に恵まれた、本当に暮らしやすいところです。

水田も多く、春になるとレンゲの花が、また秋には真っ赤なヒガンバナが咲きます。この景色だけは幼少のころとほとんど変わっていません。

野に咲く花は、ハウス栽培などとはまた趣が違った、素朴で可れんな美しさが魅力ですね。

その川上町も、近くを九州縦貫自動車道が開通してからは急速に町が開けてきました。

町の発展はうれしい反面、昔の風景が少しずつ失われていくのはちょっと残り残念です。

川上小学校のすぐ近くにある田の神さあ。江戸時代の中ごろに建てられたものといえますから、人間で言えば二百五十歳ということになります。

左足を上げて、踊る姿がユニークでしょう。県の有形民俗文化財にも指定されています。

小学生のころは、この周りで泥んこになって遊んだり、すぐ近くの川上天満宮の境内でこま回しをしたりと、友だちとよく暴れ回っていたものです。

また、自宅が精木川のすぐ近くでしたので、春から夏にかけては川遊びばかりしていました。

今でも休日になると、魚釣りをする親子の姿をよく見かけます。のどかで、いい風景ですよ。

『ト子ブナ釣りし、かの川……』。自然と共存しながら、ふるさとの山や川を子どもたちに遺産として残していくことが私たち大人の使命かも知れませんね。

花の生産を始めたのは昭和三十五年、私が二十五歳の時でした。今でこそ、花は私たちの暮らし

に潤いとゆとりを与えてくれますが、当時は、花と言ったら庶民生活にとってはぜいたく品。まさに高嶺の花でした。

「花ではメシは食えないぞ」。親族からは猛反対をうけました。

でも、一度やると決めたからには、まわりには脇目もふらず、花ひとすじに頑張りました。

五アールからの出発でしたが、最初に出荷した黄色い菊は今でも昨日の事のように覚えています。

その菊が市場で売れたときは、本当にうれしかったですね。

その昔、大石兵六という若者が狐退治をした吉野台地。なかでも、ここ寺山あたりは秋になるとススキが生い茂り、今にも狐が化けて出てきそうな雰囲気のところですね。

でも、寺山公園から見た景色の

雄大さと見晴らしの良さは、例えようがありません。

波光きらめく錦江湾と、すぐ目の前に見える桜島。まるで風景画を見ているようで、心まで自然に溶けこんでいきます。

鹿児島ほど先祖を大事にし、墓参りを欠かさない所はないんじゃないでしょうか。

一世帯あたりの切り花の消費量が全国一位というのも、うなずける数字ですね。

本市も、すっかり鹿児島市の春秋の風物詩として定着し、市民に親しまれています。

花を育て、花を愛で、花を楽しむ……。皆さんの暮らしに品質のいい花をより多く供給し、幸せという大きな花を咲かせてみたいですね。



●取材メモ
鹿児島花市場は今年の二月十四日に住吉町から吉野町に移転、新設されたばかり。

四月からは九州の市場では初めて導入したという「コンピューターせり機」を本格稼働させるという。「地方の卸売市場として、やっとその機能を果たせる。これを機に花卉業界の一層の活性化を図りたい」と抱負を語る平さん。

約五倍も広くなった市場内を水を得た魚のように、きびきびと駆け回る。

自称「根っからの百姓」平さんの闊達な気質のなかに、花と緑を愛する男のロマンを見た。

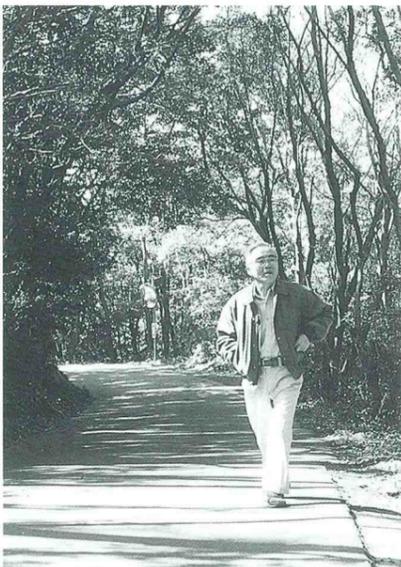
縁ヶ丘町在住。六十一歳。



▲商品の花を大事に抱える、その仕草からも花への愛着が伝わってくる。



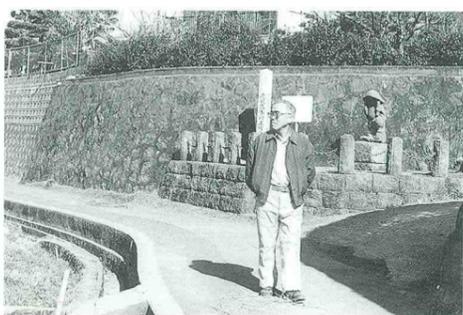
▲敷地面積18,000平方メートルという広大な規模の新「花市場」～吉野町～



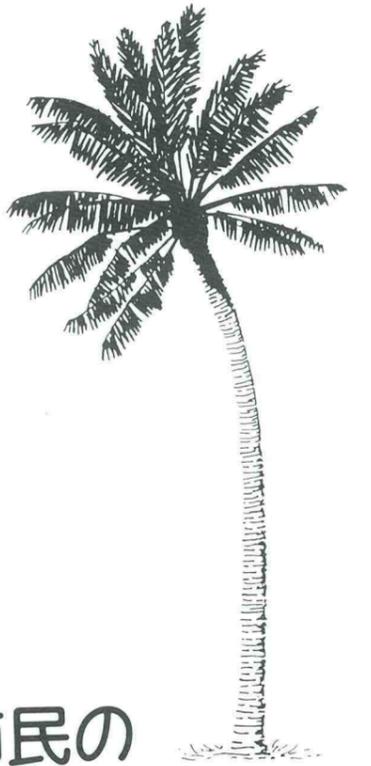
▲やわらかな木もれ日が差し込む「寺山自然遊歩道」を歩く。



▲「今年の花の出来は？」生産農家を訪ね近況を聞くことも大切な仕事の一つ。～岡之原町～



▲小学校のころ通った通学路。懐かしさいっぱい思い出のあぜ道だ。～川上町～



市民の ひろば

「市民のひろば」は毎月第4日曜日の午前10時30分から30分間、MBCで放送されます。(この番組は、平成6年2月27日に放送したものをまとめたものです。)

- 【出演者】敬称略
- 山田 寛 子(鹿児島在住11カ月)
 - 青木 節 子(鹿児島在住2年9カ月)
 - 徳重 ゆかり(鹿児島在住10カ月)
 - 長田 和 代(鹿児島在住2年9カ月)
 - 山瀧 真知子(鹿児島在住10カ月)
 - 赤崎 義 則(鹿児島市長)
 - 上野 知 子(司 会)

「ミグラントの会」

転勤者も 故郷にしたいまち

転勤で鹿児島市にきた人々に、鹿児島はどんな印象を与えているのか。各地と比べて、鹿児島にはどんな魅力があるのか。転勤族の皆さんから見た鹿児島市の姿・イメージは、まちづくりの上からも大変貴重です。番組では転勤族の妻たちでつくる「ミグラントの会」のメンバーをゲストに迎えて市長と語りまします。

「ミグラントは「渡り鳥」
友をつくり交流の輪を広げる」

上野 人口五十四万人の鹿児島市には転勤で来られた、いわゆる転勤族の方も多いと思います。そこで、今日は転勤族の妻たちでつくる「ミグラントの会」の皆さんをゲストにお迎えしていますが、

私たちですが、最初は細かい思いをしていますので、まず友人をつくり、そして鹿児島市の地元の人たちと交流の輪を広げていって、それをまた全国に広げていきたいと思っています。

上野 ミグラントの会は毎月一回の割で、実にいろいろな活動をしていらっしやいますが、長田さんは何が一番印象に残っていますか。

長田 昨年のおはら祭の夜祭りに子どもと一緒に参加したのですが、鹿児島にいないと経験できないことで、子どもと共通の思い出になりました。

上野 市長さん、このミグラントの会の皆さんの活動ぶりを伺っていかがですか。

市長 五年間も、ずっと素晴らしい活動をしていらっしやるそうですね。全国でもこのような会は珍しいと思うのですが、慣れないところで少しでも生活を楽しくするという大きな役割を果たしていると思います。地元の人と溶け合うことに気を配っていらっしやることは素晴らしいことですね。

おはら祭の思い出は、どこに行っても残るんじゃないでしょうか。



毎月1回の定例会。この日は創作折り紙作家の九万田侑子さんを講師に折り紙作りを楽しみました。



MBCスタジオで(写真右から山田さん、青木さん、徳重さん、長田さん、山瀧さん、赤崎市長、上野アナウンサー)

すね。全国でもこのような会は珍しいと思うのですが、慣れないところで少しでも生活を楽しくするという大きな役割を果たしていると思います。地元の人と溶け合うことに気を配っていらっしやることは素晴らしいことですね。

おはら祭の思い出は、どこに行っても残るんじゃないでしょうか。

鹿児島市のイメージは、
桜島の降灰

上野 徳重さんは熊本から結婚で鹿児島に来られたそうですが、鹿児島にはどのようなイメージを抱いていらっしやいましたか。

徳重 鹿児島には一、二回しか来たことがなく、山を越えた、ちょっと遠い所というイメージしかなかったです。来てみて、熊本に似たところもあり、すごく住みやすい所だと思いました。

上野 青木さんは転勤で福岡から来られたということですが、来る前には不安がありましたか。

青木 周りの人から桜島の灰のことを随分言われました。いつも大きな傘が手放せないとか、窓が開けられず布団が干せないんじゃないとか、それで心配しました。

上野 市長さん、降灰のイメージがかなり強いようですね。

市長 全国津々浦々に鹿児島とい

つたら降灰というイメージが徹底しているようですね。

しかし、桜島の爆発は観光資源としては素晴らしいものですし、火山のおかげで数多くの温泉がある。そういうプラスのイメージに変えていく努力をしていかなければならないと感じました。

公民館講座で
友だちができた

上野 山田さんは東京から来られたということですが、鹿児島はどんなイメージでしたか。

山田 気候が温暖で、自然がとても豊かなまち。そして、人が明るく、おほらかなまちというイメージがありました。

上野 転勤でいらっしやった最初は淋しかったんじゃないですか。

山田 私は公民館講座にすぐに申し込みましたので、淋しいという感じはありませんでした。講座の仲間を通じて、鹿児島市のいろいろな情報を知ることができたのでよかったです。

上野 転勤族の方々に生涯学習に参加していただくというのは、うれいんですね。

市長 鹿児島市では八つの公民館で二百五十以上の講座があり、年間一万人以上の人々が受講しています。転勤でいらっしやった方々に

も大きな役割を果たしているというお話を聞いてうれいんです。

鹿児島市のいい所を
転勤族は全国にPRします

上野 山瀧さんは仙台から長い長い旅をしていらっしやった渡り鳥という感じがするんですが、鹿児島の印象はいかがですか。

山瀧 私はお茶が好きなんです。でも、お茶というと静岡・宇治がすぐ頭に浮かびますよね。鹿児島のお茶がこんなに美味しくて全国にたくさん出ているのに知名度が低いというのは残念です。

実は、仙台に転勤したとき市主催の転勤族の奥さんだけを対象にした市民講座があり、二カ月間勉強させていただいたので非常に助かったんです。

鹿児島市にもそういう講座を作っていたらと、私たちもより一層勉強しやすくなりますし、鹿児島のいい所を全国に宣伝できるのではないかなと思っています。

市長 大変、貴重なアドバイスをいただきました。

鹿児島市の公民館講座というのは割と充実しているんですが、山瀧さんがおっしゃった転勤して来られた方を対象とした鹿児島の歴史や自然、食べ物などの講座というのも早く実現するようにしたい



66年の歴史を持つ市電。薩摩の人の温かさも運ぶ

と思います。

それと、鹿児島はPR下手なので、足りないところは皆さんが是非全国で宣伝をお願いします。

鹿児島島の人の心は温かい

上野 長田さんは、三重県四日市市、東京、そして鹿児島にいらっしやっただけですが、鹿児島は暮らしやすいですか。

長田 子供たちにとってもいい環境ですし、私自身も伸び伸びと暮らせるいいまちだと思います。

大抵、バスや電車で移動するんですが、子どもを連れて混んだのに乗った時に『大変だね』と、必ず

誰かが席を譲って下さるんです。

誰でもよく声を掛けてくれるし、見守ってくれているという雰囲気があり、すごく安心して暮らせます。

上野 市長さん、人の温かさというのを褒めていただくと、本当にうれしいですね。

市長 うれしいですね。

私も鹿児島の人間ですけれど、一番誇れるものと言ったら、人の心の温かさ、優しさ、思いやりというものだと思っています。これだけは鹿児島の宝として、いつまでもとっておきたいという気持ちです。

海と火山が一緒に美しい風景
歴史と文化の道も好きです

上野 徳重さんは鹿児島で暮らすようになって、いかがですか。

徳重 街の目の前に海と火山が一緒にある風景がとても珍しくて、広々とした雄大な風景がいいですね。

一人で城山なんかに登ったりもするんですが、鶴丸城前の通りの鯉がいる水路がいつも水がきれいで、ごみも浮いていないんですよ。で、なんていい所だろうと思って、よく通っています。

上野 歴史と文化の道も県外の人には大変人気があるようですね。

市長 そうですね。

この三月の末からは観光地周遊バスが観光地十一カ所を結んで三十分置きに運行しますので、是非利用して鹿児島をもっとと理解していただきたいですね。

太陽光線の眩しい街
美味しいものが多い

上野 さて、福岡出身の青木さんですが、鹿児島をどんなふう感じていらっしやいますか。

青木 太陽光線が、なんて眩しい街なんだろうというのが一番の印象なんです。冬場も開放感にひたり、思わずうれしくなるような空模様で、大変ありがたいと思っています。

上野 こちらで特に「美味しいな」と思ったものはありますか。

青木 桜島の小みかん、びわをいただいたりですごく「美味しいな」と思っています。福岡にいたときは、こちらにそういう美味しいブランド品があると分からなかったものから、もっと全国に広まっていけばと思います。

市長 桜島の小みかんは世界一小さくて、世界一おいしいみかんなんです。世界一大きな桜島大根、全国で数少なくなった路面電車な

ど、桜島の灰だけでなく、こういう素晴らしいものがありますよ、ということとを宣伝しなければならぬというのを今日はつくづく思いましたね。

史跡の多い鹿児島

上野 転勤で来られた方も、まず観光地を訪れると思いますが、山田さんは鹿児島の観光地の印象はいかがですか。

山田 鹿児島は歴史のあまるまちなので、非常に市内に史跡が多いと思いました。ミグラントの会でも史跡めぐりをしようと思いましたが、先程、市長さんから観光地周遊バスの話がありましたので、今年こそ是非実行してみたいと思います。

市長 五百円の日乗車券を利用してされると、安くて効率的な観光地めぐりができますよ。

加治屋町に「維新ふるさと館」もオープンしますので、是非ご覧になってください。

上野 鹿児島の良い所をたくさん見ていただきたいと思っています。市長さん、今日は本当にいろいろなお話を伺うことができましたね。



錦江湾に浮かぶ桜島。この雄大な景観は世界に一つ

市長 皆さんが鹿児島の本質をよく理解しておられることに大変びっくりしました。

いろんなご提言をいただきましたので、これからのまちづくりを活用させていただきたいと思っています。

上野 転勤で全国を回っているミグラントの会の皆さん。こういった皆さんに鹿児島を第二の故郷として愛してもらえよう、そんな素敵なまちづくりを私たちも取り組んでいきたいと思っています。では、今日の「市民のひろば」はこれでお別れいたします。

ふるさととの史跡

鹿兒島市内で最も古い寺 時宗・浄光明寺

県文化財保護指導委員 西元 肇



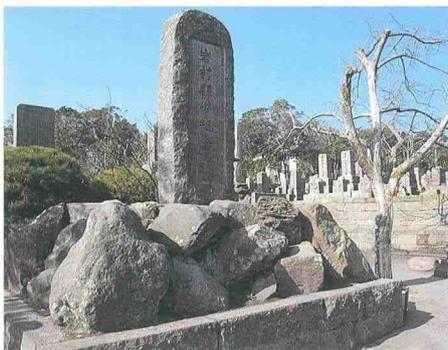
① 眺望のすばらしい高台に建つ浄光明寺



④ 島津吉貴の法名を記した塚



② 2,023人が眠る南洲墓地



③ 岩村県令記念碑

上町の眺望の素晴らしい高台にある浄光明寺は、文治二年(一一八六)、島津家初代忠久が宣阿上人を迎えて建てたといわれる。建治三年(一二七七)、一遍上人が薩摩の国を遊行した時、島津三代久経・住職覚阿上人は帰依し、以後、時宗となったといわれる。(三国名勝図絵より)。

島津家の崇敬厚く、寺領は四百石余りで、初代忠久から五代貞久までの菩提寺であった。明治二年(一八六九)の廃仏毀釈で廃寺となったが、明治十六年(一八八三)に子院の芳林庵跡に復興・公認された。現在の浄光明寺は平成元年に改築され、住職墓七基と石仏などが残っている。

浄光明寺の本堂のあった場所は南洲墓地となっている。鳥居をくぐってすぐ左側に建っている「岩村県令記念碑」の裏に、明治十年九月二十四日、城山陥るや県令岩村通俊は官軍に請い、西郷隆盛をはじめ三十九人を手厚く浄光明寺墓地に葬ったと記されている。

南洲神社の裏手の「竹公園」に島津二十一代吉貴の法名を記した塚がある。吉貴は孟宗竹を琉球(沖縄)から取り寄せ、磯に植えたり、さつまいもを普及させた。享保二年(一一七七)、浄光明寺が焼失したのを復興し、遺言によって浄光明寺墓地に眠っていたが、昭和四十五年(一九七〇)、福昌寺墓地へ改葬された。





集えば楽し

「ホーム」で仕事の疲れ、
吹き飛ばそう！

勤労青少年ホーム自主クラブ「卓球クラブ」の皆さん

あなたのアフター5。今、充実していますか？
それがちょっとねー、という若い皆さんに絶対おすすめめの場所が「青少年ホーム」です。
今年で開館二十周年を迎えたこの「勤労青少年ホーム」。これまでの利用者が約八十四万人というから驚き。まさに若者の「元祖カルチャーセンター」です。

人気の秘密は、「受講料が無料である」「雰囲気家庭的である」「いろんな職種の人と知り合える」など……。
この夜も仕事を終えたOLやヤングマンの皆さんで、どの講習も熱気がいっぱい。
午後六時。体育館では今夜の主演「卓球クラブ」(自主クラブ)の皆さんの週一回の練習が始まっています。

「クラブのモットーは技よりも和」。ほとんど皆、初心者で加入して来ます。勝敗よりも楽しむことが一番ですから、まず、ラケットで球と戯れてもらう。卓球というよりピンポンの感覚。そのうち、少しはうまくなるさという感じですね。マイペースで、皆いい汗かいていますよ」と語ってくれたのは、キャプテンの柳橋孝之さん。
クラブの活発な活動はホームで

も有名で、「休日には皆でドライブに行ったり、飲み方をしたりと、卓球よりも、実はそちらの方がメインですよ」という声もチラホラ……。その中からロマンスが生まれ、昨年二組のカップルがめでたくゴールインしたそうです。
ホームの新しい愛称は「友遊館」。「いっしょに遊ぼう！」皆の目が社会人から子どもに戻り、さらさらと輝いていました。

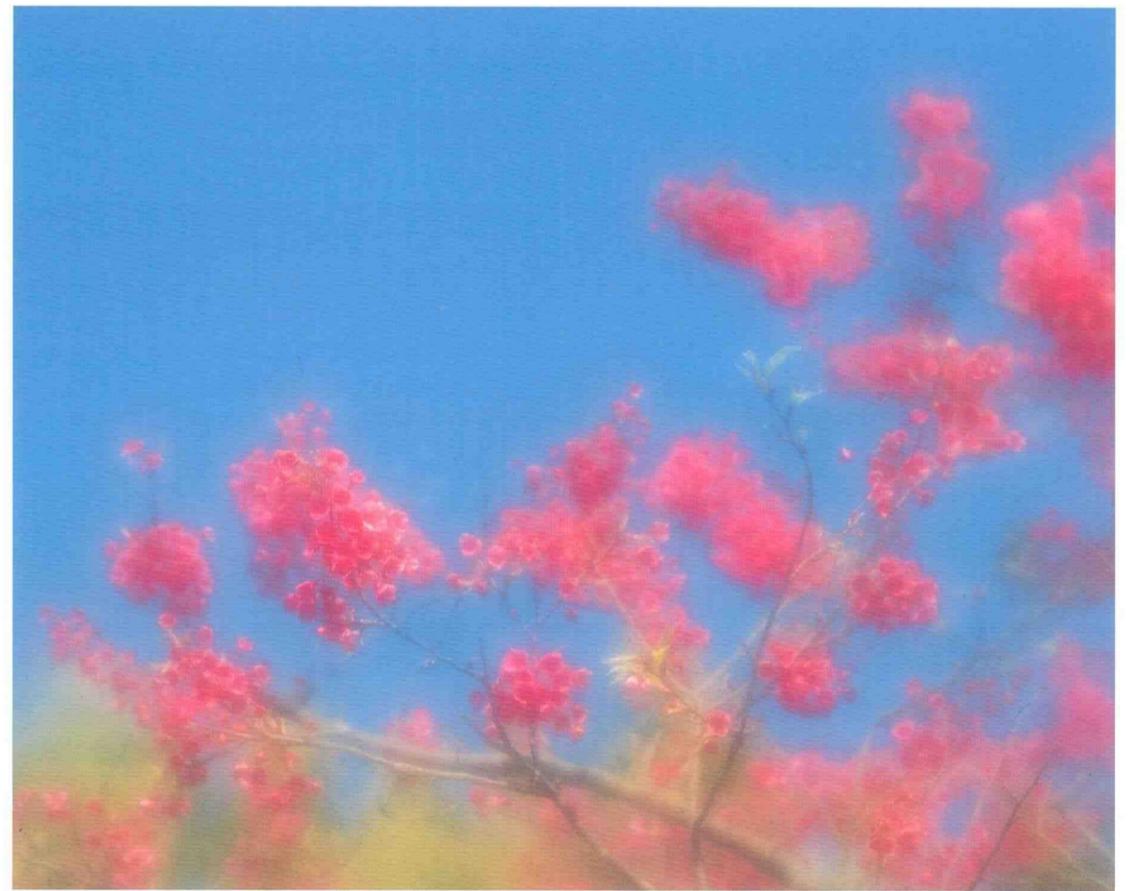
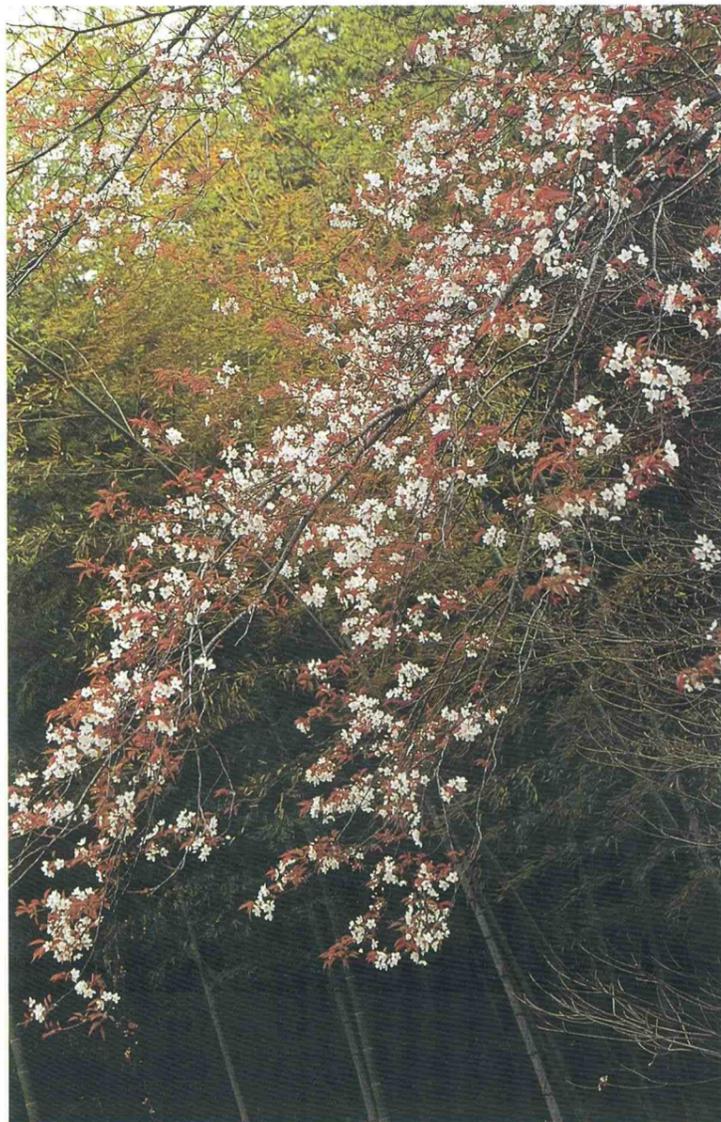




さくら
サクラ
桜

「様々なこと思ひ出す桜かな」芭蕉の句です。私は桜の中でも山桜にとくに心引かれるものがあります。しかし去年の8、6水害、台風13号でいくつもの山桜が人の命と共に、その姿を消しました。

写真と文／村上 光明さん





動物公園の ゆかいな仲間たち



来鹿十年。 日本初「四世コアラ」も元気いっぱい。

昨年五月に日本で初めて誕生した四世コアラはメスの「サツキ」。母コアラ「イブ」にまわりつく甘てオーストラリアから平川動物公

えん坊です。

昭和五十九年十月、日本で初め



■サツキ(左)と母親のイブ

園に迎えられたコアラは、今年で来鹿十年。平川動物公園は日本での繁殖数が最も多く、飼育総数は現在十八頭。日本一の大所帯です。

コアラはオーストラリア東部のユーカリの森に住む、とても神経質な動物。ユーカリの葉しか食べず、しかも約六百種類あるユーカリのうち、わずか三十種類ほどしか食べません。そのうえ、生息している場所によっても食べる種類

が異なります。平川動物公園のコアラのためには十一種類、約二万本のユーカリの木が用意されています。

平川動物公園では、春の動物公園まつりで恒例の「コアラと写真を撮ろう」が行われます。日時は四月三日(日)と十日(日)の午前十時三十分から十一時三十分まで。今度はコアラと、どんな出合いが生まれるかな。



■ユーカリの葉を食べるサツキ



紅被切子皿

材質：ガラス

サイズ：高さ 4.3cm

口径 15.0cm

底径 9.0cm

鹿児島市立美術館所蔵のさつま切子は皿3点、盃1点で、いずれも無色ガラス本体に銅で着色した紅色ガラスを被せて種々の紋様をカットしたものである。

ここに掲げる作品も無色のガラス皿の本体に暗紅色の銅赤ガラスを被せ、底面はクモの巣紋、側面は二重の斜格子に魚子（ななこ）のいわゆるストロベリー・ダイヤモンドカットと称する紋様を使っている。（この紋様は1800年ごろからイギリスで最初に試みられたとされ、19世紀に入って我が国に持ち込まれた切子ガラスにも用いられていたと思われる。）口縁は同美術館のほかの所蔵品と違い、複雑な花型カット（花縁）がほどこされている。

さつま切子の特色の一つであるカットは円盤状の回転砥石による丹念な手作業で行われている。砥石の関係でカットの角度は割り合いに鈍角であるが、側面の斜格子も底面のクモの巣紋もくっきりと力強くカットされ、それがやや不純物の混ざったガラス本体とうまくマッチして、薩摩の無名の工人の心意気を感じさせる佳品となっている。

鹿島市立美術館所蔵のさつま切子は皿3点、盃1点で、いずれも無色ガラス本体に銅で着色した紅色ガラスを被せて種々の紋様をカットしたものである。

市立美術館館長
四藏典夫

へさつま切子の由来 島津斉興
が一八四六年（弘化三年）、葉を入
れるガラス瓶を作る必要から江戸
のガラス職人、四本亀次郎を呼ん
できたのが始まりで、次の斉彬が
彼らを指揮して、無色の本体に赤
や青の色ガラスを被せて種々の紋
様をカットした。ここに当時の諸
侯の間でも、また、諸外国までも
評判になった美術工芸品さつま切
子が誕生した。

一八六三年（文久三年）の薩英戦
争で磯集成館のガラス工場が破壊
され、程なく廃絶のやむなきに至
ったのは誠に残念なことであった。

現在、全国に残っているこの時

代のものはわずか百点内外と言わ
れている。鹿児島市立美術館には

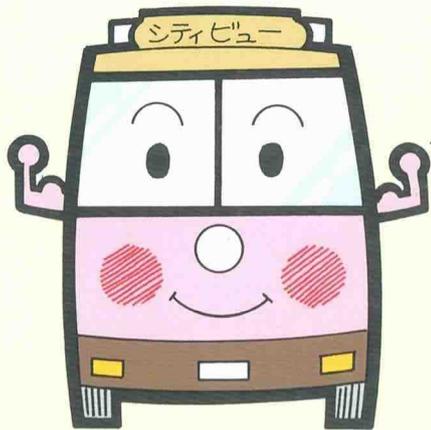
四点が収蔵されている。

鹿児島市

維新ふるさと館

Museum of the Meiji Restoration

4月29日オープン



わたしたち観光地周遊
バスも運行しています。
周遊バスと維新ふるさと館
については本誌特集を
ご覧ください。

維新ふるさと館

幕末から明治へ、日本の青春時代を駆け抜けた若き薩摩隼人たち。

彼らの偉業や鹿児島の歴史を楽しく、わかりやすく紹介する施設です。

●開館時間

午前9時～午後5時
(ただし、入館は午後4時30分まで)

●休館日

- ・毎週火曜日(祝日のときは直後の平日)
- ・年末(12月29日～12月31日)

●入館料

区分および単位	入館料	
大人 1人1回	300円	
小人 1人1回	150円	
20人以上 の団体	大人	240円
	小人	120円

※小人……小・中学生

